

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法  以下のURLで公開する  倫理委員会のホームページで公開を希望

URL

承認番号	3930
研究課題名	当院における造血幹細胞移植患者に対する無菌室管理中の理学療法効果について
研究の意義・目的	同種造血幹細胞移植を施行される患者さんは血球減少期の感染予防対策として3週間から6週間の無菌室管理が行われ活動量が著しく制限されます。また移植前処置による大量の化学療法、全身放射線療法などの影響により倦怠感や上部・下部消化管症状などの治療関連毒性や、生着後に移植片対宿主病などを発症することでさらに活動量低下が起こり、その結果、筋力、バランス能力、運動耐容能などの運動機能低下が報告されています。これらの廃用症候群予防・軽減に対して近年では無菌室での運動療法が注目されるようになり、理学療法に廃用症候群予防・軽減が求められています。当院でも移植患者さんに移植前から無菌室管理中も含め退院まで理学療法を実施しています。当院での無菌室管理中の理学療法の効果を検証することでより良い理学療法を提供することを目的としています。
研究期間	試料・情報集積期間：2016年4月1日～2018年1月31日 研究実施期間：承認後～2018年2月28日
研究対象者の範囲	2016年4月1日～2018年1月31日に大阪市立大学医学部附属病院の血液内科造血細胞移植科で、同種造血幹細胞移植治療を受けリハビリテーション科で理学療法を受けた患者さんが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	①診療記録 患者基本情報：年齢、性別、診断名、移植歴、前処置方法、移植方法、生着日、前処置開始～生着日までの期間、無菌室入室～退室までの期間、在院日数、GVHD発症の有無、ステロイド使用有無、その他合併症の有無、理学療法実施率（=理学療法予約日÷理学療法実施日数） ②理学療法評価項目 ・筋力：握力、立ち上がりテスト ・全身持久力：6分間歩行 ・パフォーマンス：片脚立位時間、踵上げ評価
利用者の範囲	自施設のみ
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	研究代表者：喜納 政史 大阪市立大学医学部附属病院 リハビリテーション部 住所：大阪府大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話：06-6645-2386